

2021年度(第10回)定時総会資料

第1号議案

議事録署名名人選出の件

第2号議案

2020年度事業報告および収支決算報告並びに監査報告承認の件

開催方法を総会議事のみとした。議決方法については、定款18条および19条に基づき議決権行使書または委任状により議決を行った。

日 時 2020年5月30日(土)

場 所 千葉県栄養士会事務所
千葉県若葉区殿田町122

内 容 総会議事 13:00~14:00

出席者数(議決権行使書および委任状含む)

2020年度事業報告

1. 2020年度定時総会の開催

1,010名

2020年度定時総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大している状況下で通常での開催は不可能と判断し、

2020年度事業報告

事業番号	事業の内容
公1	県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発、「食の宝庫千葉」の食材に培われた伝統的な食文化の継承と発展、県民の健全な食生活を彩る料理・献立の考案と普及、公衆衛生施策の立案への参画などをとおして、食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業
定款上の根拠	第4条第1項第1号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
1号	本事業は、保健・医療・福祉および教育等の領域において、栄養指導と食事療法を掌る栄養士・管理栄養士の実務をとおして得られる科学上の知見に立脚して、調査、研究および技術開発を行い、医学・農学・家政学などに跨る食と栄養の学術および科学技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図るものである。
6号	本事業は、「事業の内容」欄に記載した一連の取り組みなどをとおして、保健・医療・福祉などの領域における食と栄養の科学および実用技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図り、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
<p>本事業は、県民の食と栄養および健康・栄養指導・食事療法に関する調査などに取り組むものである。大きくは、4つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、調査および資料の収集である。調査および資料の収集の主要な対象は、第1に県民の健康と栄養の実態、第2に、栄養指導・食事療法の事例や症例などである。(2)2つ目の柱では、調査および資料の収集を踏まえ、栄養指導と食事療法に関する研究および技術開発を行う。(3)3つ目の柱では、食と栄養の科学の見地から、千葉県の新鮮な食材を生かした伝統的な料理・食文化の継承発展、県民の健康的な食生活を彩る献立・レシピの考案などを行う。(4)4つ目の柱は、千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進である。いずれの柱も、本会ならではの研究および技術開発活動である。これらの事業により、県民の健康を衛る食と栄養の科学および実用技術の振興を図る。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公1の事業を構成するものである。</p> <p>以下に2020年度事業の実施概要を記載する。</p>	
<p>1. 食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業(定款第4条第1項第1号)</p> <p>1. 栄養・健康に関する調査研究事業</p> <p>1-1 栄養指導研究所の運営(学術部)</p> <p>栄養士・管理栄養士の栄養指導・食事療法の技術の開発・研究への支援や普及などに関する事業を充実させ、それをもとに食と栄養を通じた県民の健康づくりの進展に寄与することを目指すため、各職域事業部における研究業務の推進及び栄養士・管理栄養士の研究業務の推進と研究論文の作成の指導、千葉県栄養改善学会の企画などの充実にも努めた。また、栄養千葉に「栄養指導研究所だより」の執筆、千葉県栄養士会雑誌の企画・立案、ホームページ「現代食事考・かしこく食べる」の見直しを行った。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査・研究、学会開催、広報等の支援 ④栄養士・管理栄養士、大学教授 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<p>2. 栄養指導・食事療法に関する研究および技術開発と振興</p> <p>2-1 千葉県栄養改善学会の開催(学術部)</p> <p>栄養学と栄養改善技術に関する最新の知見に基づく講演・シンポジウム、栄養士・管理栄養士による研究発表などを行う学会を開催して、さまざまな職域分野で働く栄養士・管理栄養士の研究を集約し、よりおいしく安全な食事作りや効果的な栄養指導・給食管理・食事療法などの充実を図ることを目指した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月6日(土)にオンラインで開催した。学会スローガンは、「私たちは『健康ちば21(第2次)』推進の担い手になろう」である。</p> <p>今年度は「コロナ禍において、我々は何ができるのか?」をテーマに掲げ、特別講演:「コロナ禍における感染防御の観点で“栄養と免疫”を考える」酒井 徹氏(徳島大学大学院 医歯薬学 研究部門 教授) 教育講演:「コロナ禍における食品ロスを考える」井出 留美氏(株式会社 office 3.11 代表取締役、食品ロス問題ジャーナリスト)をライブ配信した。</p>	

また、会員からの一般発表（14演題）は誌上発表、協賛会員からは例年の商品展示に変え講演集への広告掲示とした。なお、今年度は、優秀発表の選出のための基礎資料作成のため、参加者による投票を行った。これに伴い評価基準を作成・周知するとともに、投票結果を発表者にフードバックするなど、会員のスキルアップに努めた。参加申込者数は107名であった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④栄養士・管理栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

2-2 「食育媒体の作製と開発」の実技研究会の開催（福祉）

研修の見直しをしたため、予定がなく実施しなかった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究、開発 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2-3 事例研究会の開催（地域活動）

県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発を目指し、様々なライフスタイルに即した指導方法の研究に努めてきたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため事例研究会を中止とした。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査・研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2-4 千葉県栄養士会雑誌の発行（広報部）

さまざまな分野で働く栄養士・管理栄養士に最新の情報と知識を伝え、事業に活用することを目的として、食や栄養に関する学術文、栄養改善奨励賞受賞者の発表内容、各職域の実践事例報告、活動だよりなどを掲載し、「栄養千葉」と併せて3回（4月、8月、12月）に発行した。記事は県民や会員外の栄養士・管理栄養士が読むことができるよう、ホームページへ掲載するとともに事務所掲示板へ掲示した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ④雑誌発行 ④委員会で企画・編集 ⑤非該当】

2-5 栄養士調理師合同研究発表会の開催（医療）

病院で共に働く栄養士・管理栄養士と調理師が、日頃の治療食や栄養指導などに関する研究を発表して、その事例や知見を普及し治療期間の短縮、疾病の再発防止、および、病院給食の質の向上に役立てることを目的に、2月21日（日）にZoomにおいて63名が参加して開催した。内容は、研究発表6題と特別講演として「栄養論文の読み方・考え方」と題し、東京大学大学院医学研究科社会予防疫学分野教授 佐々木 敏 氏による講演を行った。

【①栄養士・管理栄養士、調理師 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2-6 千葉県内医療機関栄養業務実態調査の実施（医療）

県内医療機関の栄養管理業務の実態を把握し、栄養業務の改善向上を図ることを目的に実施した。この調査は、昭和58年度から4年ごとに行われ、今年度は第10回となった。対象は県内の医療機関290施設とし、194施設（66.9%）から回答を得た。主に基礎調査・多職種連携・災害時対応・新設加算の実施状況・病棟での栄養管理などの内容で30項目の調査結果を集計した。

【①県内医療機関 ②主催者の広報、ホームページ ③調査・研究 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3. 食文化の継承発展と健康的な食生活を営むレシピの開発

3-1 「『地産地消』レシピ」の考案と普及（事業部）

健康づくりや食育の推進と千葉県の豊かな食材の活用、食文化の継承・発展に役立てることを目的に、2019年度の食育健康料理教室の実施にあたって考案したレシピ（料理）のうち、広く普及することが必要と思われるレシピを四季に分類し、ホームページに地産地消レシピとして掲載した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③開発 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

4. 千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進

4-1 千葉県の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉県の行う健康づくりに関する各種委員会・会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の推進に協力した。各種委員会・会議は以下のとおり。

千葉県食育推進県民協議会、健康ちば地域・職域連携推進協議会（文書審議）、千葉県アレルギー対策協議会、千葉県産米需要拡大推進協議会、千葉県食品等安全・安心協議会、千葉県「健康ちば協力店」推進協議会、千葉県介護支援専門員協議会、千葉県介護予防市町村支援検討会議

【①県民 ②県の諸施設の公開、広報 ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

4-2 千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（千葉地域）

千葉市の行う健康づくりに関する各種委員会・会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の策定に協力した。千葉市内各区分で開催される多職種連携会議に参加して地域の取り組み推進に関わるとともに、千葉市在宅医療推進協議会に参画し、連携体制の構築に努めた。今年度の委員会・会議は以下のとおり。

千葉市健康づくり推進協議会、千葉市地域保健医療協議会、健やか未来都市ちばプラン推進協議会、千葉市学校給食センター運営委員会、千葉市在宅医療推進連絡協議会

【①市民 ②千葉市の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的として実施した。このことは、定款第3条、同第4条第1項第1号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、調査・研究結果の刊行物での公表、ホームページへの掲載、その内容へのアクセスを可能とする措置を講じた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。事業実施に当たっては、適宜、関連科学の定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家の指導を受け、もしくは、これらと共同して、理論および実用性の両面において高い質の確保に努めた。

その他、県民の健康を衛る食と栄養の総合的かつ実践的な科学および技術の振興を図ることをとおして公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を実施した。

事業番号	事業の内容			
公2	系統的・発展的な卒後教育・生涯教育の推進および養成教育への支援などにより、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業			
定款上の根拠	第4条第1項第2号			
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係			
6号	本事業は、「事業の概要」の欄に記載した一連の取り組みなどとおして、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成し、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。健康増進法(平成14年8月2日法律第103号)第3条は国および地方公共団体の責務として「健康の増進にかかる人材の養成および資質の向上を図る」ことをあげているところであり、栄養士・管理栄養士として、有為の人材を育成する事業は、かかる公益上の要請に適用されるものである。			
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】				
この事業は、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成するために各種の研修などに取り組むものである。栄養士・管理栄養士の人材育成事業であり、3つの柱から成り、(1)1つ目の柱は、基幹研修制度で、中核事業が継続教育・生涯教育研修会である。すべての栄養士・管理栄養士を対象として実施する、系統的で発展的な内容の教育・訓練・学習からなる研修事業である。(2)2つ目の柱は、職域研修制度である。特定職域や特定種類の業務を対象に、専門職業人の技能と心の深耕・発展を図る研修を行う。(3)3つ目の柱は、公益目的事業の人的基盤を強化する事業である。これらの取り組みにより、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士の育成に努めた。以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公2の事業を構成するものである。以下に2020年度事業の実施概要を記載する。				
II. 健康づくりに貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業(定款第4条第1項第2号)				
1. 継続教育・生涯教育事業—基幹研修制度				
1-1 生涯教育研修会の開催(学術部)				
<p>栄養士・管理栄養士は科学の進歩と社会の変化に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められている。日本栄養士会は、従来から行ってきた生涯学習からキャリア形成を支援できる制度として、平成26年度から生涯職能開発の考え方を取り入れた生涯教育制度へ移行した。生涯教育制度の基本構造は、「栄養の指導」の専門職として各領域で必須とされるスキルを習得するための基幹教育と、専門とする分野ごとに専門性を高める拡充教育がある。基幹教育は基本研修と実務研修がある。今年度は、実務研修を8単位と基本研修を8単位(必須2単位を含む)の合計16単位を5日間にわたって千葉市文化センターを会場に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、6月27日(土)、7月12日(日)に予定していた実務研修は中止。8月29日(土)、9月27日(日)、10月24日(土)の3日間の基本研修のみの開催とした。受講者数(延べ数)は131人、単位取得(延べ数)131単位である。新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じたうえで開催となり、会場設営に苦勞し、当日欠席もあったが、参加者からの感謝の声も聴くことができた。また、開催に際しては、開催案内をホームページに掲載するなどして広く、栄養士・管理栄養士の参加を募った。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講義・演習 ④講師は栄養士・管理栄養士、医師等の関連職種、大学教授 ⑤単独 ⑥非該当】</p>				
1-2 日本栄養士会との共同研修事業の実施(事業部)				
<p>(公社)日本栄養士会との共同で栄養士・管理栄養士として対応すべき全国的課題を素材に、地域性を活かして実践できる技術、能力を身に付ける研修事業としてきたが、今年度は千葉県として有用なテーマがなく実施を見合わせた。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士・県民 ②事務所掲示板、ホームページ、チラシの配布 ③調理実習・講演 ④講師は管理栄養士及び専門家 ⑤共催 ⑥非該当】</p>				
1-3 よりソリプロジェクト・人材育成研修会の開催-地域ケア会議に参加できる人材の育成—(学術部)				
<p>地域包括ケア推進における栄養士・管理栄養士の役割の明確化と地域ケア会議に参加できる人材の確保と育成に向けて研修会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。</p> <p>2020年4月の診療報酬の改正で診療所に属さない管理栄養士の外来・在宅患者訪問栄養食事指導が認められ、2021年度に小規模医療施設の一般診療所と業務委託契約を結ぶ準備として、外来栄養食事指導を行うための人材育成に関わる検討委員会を、会長含め担当委員11名で10月29日(木)・12月10日(木)・1月28日(木)・3月2日(火)Zoom会議を行った。今回は外来栄養食事指導を行う管理栄養士の育成のための講義を4科目、それぞれ60分間のユーチューブで行った。参加者は26名</p> <p>【①管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】</p>				
1-4 栄養士・管理栄養士研修会(総会時特別講演)(総務部)				
<p>定時総会時に当該年度の栄養士・管理栄養士の活動を考える上での基本的な事柄について講演をいただくことを目的として、総会終了後に「食生活を支える口腔機能の維持・向上について(仮)」と題して、千葉県歯科医師会会長 砂川 稔氏に講演をいただく予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修会を中止とした。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座 ④講師は大学教授または専門家 ⑤単独 ⑥非該当】</p>				
2. 特定職域・特定種類業務研修事業—職域研修制度				
公衆衛生事業部				
(1) 中央研修会				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2021年 2月14日(日)	第1回 中央研修会	講演 「健康長寿のための食事と栄養 ～保健指導ツールとエビデンス～」 講師 独立行政法人東京都長寿医療センター研究所 研究員 横山 友里	WEB開催	71名
2月19日(金)	第2回 中央研修会	情報交換(書面) 「自治体における栄養業務でのオンラインツール活用の状況について」	書面開催	120名 (39市町)

(2) ブロック研修会				
ブロック名	期 日	内 容	会 場	出 席 数
東 葛	2021年 2月25日(木)	【健康福祉センター・保健所業務検討】 (1) 新型コロナウイルス感染症対策の中での健康づくり・栄養改善事業	書面開催	6名
	2020年 6月19日(金)	【市栄養士業務連絡会】 (1) 令和2年度事業内容について (2) 新型コロナウイルス感染症対応による各種事業の実施について	書面開催	48名
	12月11日(金)	【市栄養士研修会・業務検討会】 (1) コロナ禍での栄養業務の実施について (2) 高齢者の保健事業と介護予防の一体化実施のための取組について (3) 特定保健指導の認知度向上について (4) 骨粗しょう症検診の実施について	書面開催	48名
黒 潮	2020年 10月8日(木)	【保健所業務検討】 (1) 食品表示(栄養成分表示)について	書面開催	21名
		【市町業務検討】 (1) 尿中塩分摂取量検査の実施状況について 【共通業務検討】 (1) 食生活改善協議会事業について (2) 情報交換 新型コロナウイルス禍での事業の実施状況		
さざなみ	2020年 9月14日(月)	(1) 新型コロナウイルス感染症対策下における事業の実施について ① 事業の実施状況及び実施上の課題・工夫の共有	書面開催	24名
	2021年 2月15日(月)	(1) 新型コロナウイルス感染症対策下における事業の実施について ②事業の最終評価及び次年度計画の検討	書面開催	24名
医療事業部				
地区研修会				
地 区	期 日	内 容	会 場	出 席 数
千葉地区	2020年 11月27日(金)	講演 「腸内フローラの重要性について」 講師 株式会社クリニコ 下野智弘	Web開催	10名
延べ件数1件 延べ参加数10名				
機関紙の発行 8月、12月、3月 機関紙発行「菜の花」102～104号 各550部 創立70周年記念事業 記念誌の発行を行った。				
学校健康教育事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2020年 10月3日(土)	研 修 会	調理講習会 和食給食応援団共催事業 「国内水産業と子どもたちに伝えたい北海道水産物の魅力」 講師 和食料理人「鈴なり」村田明彦	千葉県学校給食会	会場参加者20名 オンライン 参加者60名 (内会員外55名)
福祉事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2020年 4月16日(木)	研 修 会	講演① 「ローリングストック法～非常災害に備えた対応～」 講師 特別養護老人ホーム松寿園 管理栄養士 伊藤光子 講演② 「即席めんを活用」 講師 (一社)日本即席食品工業協会 中井義兼	千葉市民会館	中止
6月10日(水)	研 修 会	講演 「子どもの好き嫌い」 講師 キッズ食育トレーナー 玉田悦子	千葉市 文化センター	次年度に延期
7月2日(木)	研 修 会	講演 きざみの私も「かたちそのままおやつを食べたい」 横浜発、北は【白い恋人】～南は【ちんすこう】まで 講師 介護老人保健施設青葉の丘 管理栄養士 仲田奈津子	千葉市民会館	中止
11月	調 理 実 習	テーマ 「災害時に使えるパッキング」 講師 防災アドバイザー 岡部梨恵子	千葉市 消費生活センター 10/18動画撮影 (80分)	次年度に延期
2021年 1月	研 修 会	講演 「食品の機能性表示と機能性農産物開発」 講師 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 ヘルスケア創出研究統括監 山本(前田)万里	パワーポイント 形式DVDの作成 (60分×2)	次年度に延期

地域活動事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2020年 4月18日(土)	第1回研修会	内容 「フレイルの概念と運動療法」 講師 塩田記念病院・理学療法士 石渡正浩		中止
7月11日(土)	第2回研修会	内容 「口腔機能とライフステージ」 講師 千葉県歯科衛生士会 岡部朋子	蘇我コミュニティセンター	22名
10月31日(土)	第3回研修会	内容 「今すぐ実践！ごみ減量講習会 ～食品ロス削減～」 講師 千葉市環境局資源循環部 廃棄物対策課 3R推進班 主査 君塚清美	蘇我コミュニティセンター	21名
11月	視察研修会	松戸・戸定が丘歴史公園	松戸市	中止
2021年 1月	情報交換会	銚子・醤油工場（2社）見学	銚子市	中止
2月6日(土)	事例研究会	内容 「サプリメントなどの健康食品の賢い活用術」 講師 大塚製薬株式会社 井澤 遥	千葉県栄養士会事務所	中止
8、12、3月	機関誌発行	175～177号 各300部		

研究教育事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
6月期	研 修 会	6月27日（土）、千葉県保健医療大学において、「スポーツ栄養」をテーマに研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。		中止
2020年 12月26日(土)	研 修 会 (教員対象としたスキルアップ研修会)	2020年度研究教育事業部研修会 第1部：フォーラムディスカッション [A] 「現場からリサーチクエスチョンを引き出せる研究マインドの涵養」 発表者① 谷内洋子（千葉県立保健医療大学） テーマ：クリニカルクエスチョンから論文執筆へーエビデンスの創出についてー 発表者② 多賀昌樹（和洋女子大学） テーマ：栄養学研究を行う人材をいかに育てるか 発表者③ 池本真二（聖徳大学） テーマ：食事摂取基準の活用シミュレーションから意識してほしい研究マインド ー総合討論ー 第2部：フォーラムディスカッション [B] 「コロナ禍におけるオンライン授業のあり方を考える」 発表者① 廣木奈津（聖徳大学） テーマ：オンライン授業におけるグループワークの実践 発表者② 布川美穂（和洋女子大学） テーマ：学外実習の視点からオンライン授業を考える ～コロナ禍での第一歩～ 発表者③ 永嶋久美子（川村学園女子大学） テーマ：オンライン授業で実施する実験実習科目の検討 ー総合討論ー	Web開催	25名

千葉地域事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
2021年 1月21日(木)	研 修 会	講演 「訪問診療の実際～在宅での取り組みについて～」 講師 一般社団法人千葉市歯科医師会 特殊歯科委員会（障がい者歯科）介護認定委員会 委員 坂口 豊	千葉市総合保健医療センター	Web開催
2月4日(木)	研 修 会	講演 「今日から使えるナッジ論 ～給食施設に生かせるヒントを知ろう～」 講師 帝京大学大学院 公衆衛生学研究所 教授 福田 吉治	千葉市総合保健医療センター	Web開催

いずれの事業も【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演 セミナー ④講師は栄養士・管理栄養士、医師などの関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】として行った。

3. 公益活動を強化するための人材を確保する事業（組織部）

公益目的事業を適正かつ円滑に行う上で重要な人材確保のため、本会の行う事業の必要性や意義などについて組織財政問題検討委員会において組織強化長期計画推進の取り組みなどの理解を深めてきた。職域事業部では、身近にいる未加入者への呼びかけ、スマートフォンを活用しての情報提供などを行い、入会の推進に努めた。未加入者への入会案内文書の発送は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため研修会が中止となり今年度は見合わせた。

また、栄養千葉8月号発送時に全会員に対し、身近にいる未加入者に対して入会の案内を働きかける文書を同封した。これらの他、卒業予定者への入会の働きかけとして、養成施設9校に対して「入会案内」などの配布をした。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第2号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、研修等の内容や開催日時、受講資格が開かれてることなどをホームページ、雑誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。研修会の講師、演者には、実務家養成の見地から、適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を招くなどして理論的にも実践的にも高い質の確保に努めた。

その他、県民の伴侶としてその健康づくりに確かな貢献を行う栄養士・管理栄養士を育成することをとおして、公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公3	健康の増進、疾病の予防と治療に資する食事・栄養摂取のあり方について、講演会や講習会の開催、開かれた常設的相談窓口の設営、地域社会での諸活動、刊行物などによる知識・知恵の発信と交流など、多様な形態で行う栄養指導・給食管理・食事療法や食育に関する取り組みをとおして、県民の健全で裕り豊かな食生活の自律的な営みを支援する事業
定款上の根拠	第4条第1項第3号

事業の種類(認定法別表) 事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係

6号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要欄」に記載した一連の取り組みなどをおとして、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り込まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、または豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9号)にも該当する。
9号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を規定しており、これを受けて、本事業は、「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどをおとして、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り込まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9号)にも該当する。

事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、本事業は、栄養士・管理栄養士の専門的知見と技能を生かした組織的活動により、疾病の予防と治療および療養、そして日常の食生活の各分野で、県民のかかる「自主的な努力」を支援するものである。この事業は、3つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、個々の県民の個性・特性に合わせた栄養指導その他の専門的支援を組織的に行うものである。(2)2つ目の柱は、食生活の改善をもつて県民の健康・栄養・疾病予防上の課題に対処すべく、広く県民に対し食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及などを行うものである。(3)3つ目の柱は食・栄養と健康に関する情報コミュニケーション事業である。この3つの柱による参加と協働を宗とする開かれた多様多様な活動をおとして、健全な食生活・食事摂取の在り方の確立に向けた県民の取り組みを支援する。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公3の事業を構成するものである。

以下に、2020年度事業の実施概要を記載する。

Ⅲ. 県民が健康で裕り豊かな生活を営むことができるよう支援する事業(定款第4条第1項第3号)

1. 個別特性対応型の自律支援事業
 - 1-1 テレフォン栄養相談事業(広報部)

第2、第4月曜日の10時から16時まで、食と栄養に関する疑問を直接電話で受け、相談員が回答する「食べ物なんでも相談」を実施したが、緊急事態宣言が全国に拡大した4月から5月の間は事務所職員が在宅勤務となり業務縮小に伴い中止となった。

また事業の適正な運営を図るため、9月、3月の2回担当者会議を開催した。相談件数の増加に向けて事業の内容を千葉日報「現代食事考」の記事の後に記載する他、千葉県中小企業団体中央会「情報誌」に掲載した。本会ホームページのトップページに本事業の案内を掲載した。

今年度の相談件数は23件であった。

【①県民 ②千葉日報新聞、配布広告、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士が担当 ⑤単独 ⑥非該当】
 - 1-2 特定保健指導の実施(総務部)

前年度に引き続き、中央建設国保千葉土建かずさ支部および千葉支部・市川支部の初回指導および3ヶ月から6ヶ月の間に継続指導などの個人指導を行うほか、保健指導の実施率の向上を図るため、健診時腹囲の他1つ以上保健指導の要件のある者に対し初回面談を行い、かずさ支部、千葉支部、市川支部の健診時に担当者が向ういて個人面談を実施した。

これらを含め延べ42名(動機づけ支援18名、積極的支援22名、支援レベル未確定2名)に対して保健指導を実施した。担当者の育成・確保のための担当者会議を3月8日(月)に実施した。

【①県民 ②主催者の広報、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】
 - 1-3 介護予防栄養改善事業の実施(総務部)

(株)ダンロップスポーツウエルネスからの依頼を受け、介護予防教室の栄養改善を担当し講義を行っていたが、依頼がなく、実施しなかった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】
 - 1-4 日赤「低ヘモグロビン献血者に対する健康相談」事業(事業部)

日赤からの依頼がなく、実施しなかった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

2. 集団特性対応型の自律支援事業

2-1 千葉市健康づくり大会への協力事業（千葉地域）

10月17日（土）千葉市さばーにおいて開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-2 がん予防展への協力事業（事業部）

9月のがん征圧月間にあたり、千葉県、（公財）ちば県民保健予防財団、千葉県がんセンターの主催により、「がん予防展・がん講演会」を開催し、がん予防・健康増進の意識高揚に努めている。例年、開催地区の医療事業部会員が協力し、パネル展示やがんなどの生活習慣病の予防に関する栄養相談を担当しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

【①県民 ②主催者の広報 ③展示、相談・助言 ④栄養士・管理栄養士、関連専門職種 ⑤協力 ⑥非該当】

2-3 地域健康づくり推進事業（医療）

県内8地区の活動として、地区内の自治体、または、医療機関、および他職種の機能団体が開催する健康増進に係るイベントに参加、協力し、地域住民に対する展示や食生活相談などを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催されなかった。

【①県民 ②主催者の広報、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-4 看護の日行事への協力事業（千葉地域）

千葉県看護協会千葉地区の行う看護の日の行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-5 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催（事業部）

栄養改善普及月間の行事として、食生活の改善に携わる栄養関係3団体（本会・千葉県食生活改善協議会・千葉県集団給食協議会連合会）の共催により例年9月に千葉県他の後援を得て第1部は「大会式典」、第2部は県民の参加を得て「健康づくり食生活講演会」として開催している。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたが、健康づくりや食生活改善等に御尽力いただいた方への知事表彰と共催各団体会長表彰については実施した。

【①県民 ②事務所掲示板、千葉日報新聞、ホームページ、他 ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

2-6 健康づくり栄養講座の開催（学術部）

例年、県民を対象とした健康づくりや健康寿命の延伸に役立つ内容として、栄養・運動・休養に関する講座を開催している。今年度も、11月に千葉県立保健医療大学を会場に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、千葉日報・毎日新聞千葉版、チラシの配布 ③講座・セミナー ④大学教員 ⑤単独 ⑥非該当】

2-7 食育健康料理教室の開催（事業部）

平成16年度から公民館などを利用して、健康づくりと生活習慣病の予防、食育の推進を目的として県民に直接望ましい食と栄養についての実習を通じて話しかける事業として開始した。適正・円滑な運営を図るため、手引きの作成と担当者会議を開催し、平成30年度からはメインテーマを「美味しく、楽しく、食事で元気に」、サブテーマを健康料理教室では「適度な塩分で100歳目指そう!」、食育料理教室では「やさいとなかよくなろう!」とし実施している。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため調理実習の会場借用が困難なこと等から教室の開催は中止としたが、統一メニューについては作成し県栄養士会ホームページに掲載した。

【①県民 ②事務所掲示板、実施会場でのチラシなどの配布、親子料理教室の場合は近隣の小学校に依頼 ③体験学習（料理教室） ④栄養士・管理栄養士が企画・実施 ⑤単独 ⑥非該当】

2-8 講演会・料理教室などでの講演の実施（総務部）

関係機関・団体等の依頼に応じて、健康づくりや生活習慣病予防に関する各種講演会、研修会、料理講習会、栄養指導などを行って、食と栄養を通じた健康づくりの支援を行った。

6件の依頼に対して延べ6名が講師を務めた。

【①県民 ②主催者の広報 ③講座・セミナー、体験学習（調理実習） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-9 親子料理教室の開催（学校健康教育）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は実施を見合わせた。

【①県民 ②該当する学校へのチラシの配布 ③体験活動（料理教室）、講習・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-10 千葉市食育の日事業への協力（千葉地域）

「千葉市食育のつどい」は、6月20日（土）稲毛区で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

【①県民 ②千葉市の広報 ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-11 調理補助講習事業への協力事業（事業部）

（公社）千葉県シルバー人材センター連合会の求めに応じて、派遣就業を希望する高齢者の就業機会の拡大を図るため、調理補助者などとして必要な知識を習得することを目的として、調理実習と講和を実施してきたが、依頼がなかった。

【①県民 ②シルバー人材センターの行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-12 千葉県学校保健学会への協力事業（学校健康教育）

千葉県学校保健学会が中止となった。

【①栄養士・管理栄養士、関連職種 ②主催団体の行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士、関連職種 ⑤協力 ⑥非該当】

2-13 ウェルネスセミナー開催への協力事業（事業部）

大塚製薬（株）から依頼を受け実施しているが、今年度は依頼がなかった。

【①県民 ②主催団体の行う広報、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-14 災害時栄養支援事業（総務部）

会議を定期的に開催し、事業の円滑な実施に努めた。スタッフの確保および資質の向上を目指し、「スキルアップ研修会」を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今回は中止とした。JDA-DAT千葉の登録の充実を図り、また、日本栄養士会の作成した「各都道府県栄養士会災害対応におけるアクションカード運用マニュアル」を基に「アクションカード」作成の理解と見直しを進めた。また、千葉県用のアクションカード作成について検討を行い、災害発生時の迅速・円滑な支援体制の整備を図った。非常災害に備えた食糧確保対策についての啓発普及活動については、千葉日報・現代食事に2回記事を連載し、ホームページ「災害時に備えた食糧」について見直しを行い、また、「パッキングレシピ集」作成について検討を行った。

【①県民 ②ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-15 介護摂食嚥下等相談事業 (学術部)

介護・摂食嚥下関係の食事や栄養に関して、他の関係職種の方々から本会に問合せがあった時に、速やかに専門的知識を有する者を紹介できるような人材を確保して対応を図ったが、問合せはなかった。

【①関係専門職種 ②ホームページ ③情報提供 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-16 栄養の日事業 (事業部)

「栄養の日」(8月4日)が定められ、栄養週間(8月1日~7日)が設けられたことから、この期間に栄養の日の趣旨及び食生活の改善に関するパネル展示を行い食と栄養を通じた健康づくりの普及・啓発に努めている。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため対面型の活動は中止とし、千葉日報「現代食事考」(8月2日発行)に「栄養の日」に関する記事を掲載し、周知及び普及を図った。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、千葉日報、毎日新聞千葉版、チラシの配布 ③講座・セミナー、展示 ④大学研究者、専門家、管理栄養士 ⑤主催、共催 ⑥非該当】

3. 食と栄養と健康の情報コミュニケーション事業

3-1 インターネット・ホームページによる情報の提供 (広報部)

ホームページを利用して多くの人々に千葉県栄養士会の活動や各種事業の広報と、食と栄養の観点から健康づくりに役立つ情報を提供するように努めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの事業が中止となり情報発信が少なかった。

健康づくりに役立つ情報としての「現代食事考・かしこく食べる」の内容の見直し・最新の情報に書き換え、および「[地産地消]レシピ」の季節に合わせての更新は行った。ホームページ運営委員会は緊急事態宣言を受けて6月は中止、10月と2月の2回 WEB併用にて実施し運営方法の充実に努めた。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他(情報提供) ④栄養士・管理栄養士が記事を書いて編集 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 千葉日報「現代食事考」記事の提供事業 (広報部)

千葉日報社の協力を得て、毎週日曜日の千葉日報新聞「現代食事考」欄に、年間執筆計画をもとに国の健康づくりに関する月間・年間行事などを踏まえ、健康づくりや病気の予防、行事にまつわる料理や千葉県で生産される旬の食材の活用に関する記事を会員の協力を得て提供した。今年度は52回分の記事提供となり、掲載された記事は冊子として作成した。

【①県民 ②千葉日報新聞、ホームページ ③その他(記事提供) ④栄養士・管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 NHK千葉FM「ひるどき情報ちば『食と健康』」放送協力事業 (事業部)

今年度はNHK千葉放送局の依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②NHK千葉放送局広報、ホームページ ③その他(情報提供) ④栄養士・管理栄養士の出演 ⑤単独 ⑥非該当】

3-4 健康づくりと栄養改善のパネルの作成と貸し出し (広報部)

食生活改善や疾病の予防に関するパネルを作成し、「栄養の日」、地域の健康づくりイベントや健康づくりに関する行事などに貸し出しを行っているが、今年度は各種イベント中止に伴い0件であった。また見直しが必要のためパネル新規作成は見合わせた。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他(情報提供) ④管理栄養士によるパネル作成 ⑤単独 ⑥非該当】

3-5 千葉県中小企業団体中央会「情報誌」への健康づくりに関する記事の提供事業 (広報部)

千葉県中小企業団体中央会情報誌「中小企業ちば」の「食と健康ワンポイント」欄に年4回記事を提供し、県民の食と栄養を通じた健康づくりを支援した。

【①県民 ②中小企業団体中央会「情報誌」 ③その他(情報提供) ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-6 湯けむり横丁・みはま「湯けむり新聞」への記事の提供事業 (広報部)

本事業は平成30年度で終了した。

3-7 千葉県国民健康保険団体連合会「機関誌」への記事の提供事業 (広報部)

千葉県国民健康保険団体連合会「機関誌」に手に入れやすい旬の食材を使ったレシピを6回掲載した。レシピ作成・料理については地域活動事業部会員の協力を得て行い、県民の健康維持に役立てられるように支援した。

【①県民 ②千葉県国民健康保険団体連合会「機関誌」 ③その他(情報提供) ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第3号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、講演会、展示会、集会などの内容や開催日時、参加資格が開かれていることなどをホームページや自治体の広報誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

講演会などの講師は、定評のある研究者(大学教員)、専門職、その他の専門家を充てるなどして、的確でわかりやすく実用的な内容からなる質の高いものにした。

その他、健全な食生活・食事摂取のあり方の確立に向けた県民の取り組みを支援することとおして、公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公4	地域社会の保健・医療・福祉の増進に関わる各種の専門職・専門家の連携と協働関係の形成、食品・食事の提供に關係する事業者への業務支援、地域社会の栄養改善に貢献した個人・団体の顕彰、栄養士・管理栄養士にかかる制度の改善を図る取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を支える食環境の整備を進める事業。
定款上の根拠	第4条第1項第4号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源(人と物と仕組み)を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上(公益認定法別表6号)に寄与することを目的とする。本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」(公益法人認定法別表19号)にも該当する。
19号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源(人と物と仕組み)を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業概要欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上(公益認定法別表6号)に寄与することを目的とする。本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」(公益法人認定法別表19号)にも該当する。
	事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

県民の食生活に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。本事業は3つの柱から成り、(1) 1つ目の柱は、栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉および教育などの分野の各職種並びに健康づくり関連企業への助言や支援などの連携・協働関係の構築。(2) 2つ目の柱は、栄養改善に貢献した団体・個人の顕彰。(3) 3つ目の柱は、適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組むことをとおして、県民の食環境を望ましいものにするべくその整備を行おうとするものである。これは、県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公4の事業を構成するものである。

以下に、2020年度事業の実施概要を記載する。

IV. 健康な食生活を支える食環境の整備を進める事業（定款第4条第1項第4号）

1. 連携構築事業

1-1 関係団体の行う各種健康づくりに関する委員会への参加と催しへの協力（総務部、事業部）

関係機関、団体における地域および健康づくりに関する委員会・会議に参画するとともに、催しに協力して、健康づくりや疾病予防に関する各種事業の推進を通じて、連携の強化を図った。今年度の状況は以下のとおり。

<関係機関・関係団体>

（公社）千葉県医師会、（一社）千葉県歯科医師会、（公社）千葉県看護協会、（一社）千葉県歯科衛生士会、（一社）千葉県調理師会、（一社）千葉県診療放射線技師会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食連合会、（公財）ちば県民保健予防財団（文書審議）、（一社）千葉県薬剤師会

<関係機関・関係団体で組織する県民の健康づくりを推進する組織>

障害児（者）のための摂食嚥下指導事業推進委員会、千葉県小児保健協会、千葉県学校保健学会、千葉県公衆衛生協会、千葉県糖尿病対策推進会議・講習会

<催しへの協力>

11月14日（土）千葉市民会館で開催された千葉県歯科医師会主催の「いい歯のイベント2020」千葉県口腔保健大会に会員2名が協力し、千葉県栄養士会のイベントブースで栄養相談を行った。

以下の催しの「料理審査担当」を努めるとともに、「栄養士会会長賞」の授与を行った。

千葉県歯科衛生士会主催：「かむ子・のびる子、元気な子」料理コンクール（文書審査）

【①県民 ②主催団体の広報 ③その他（情報発信） ④専門的な知見を有する者 ⑤単独 ⑥非該当】

1-2 調理師試験受験準備講習事業などに対する協力事業（事業部）

特定給食施設で共に働く調理員や飲食店などで働く調理従事者の調理師試験合格率の向上を図り、衛生的で安全な食事の提供に資することを目的として、（一社）千葉県調理師会を行う調理師試験準備講習会の開催・運営に協力した。平成28年度から本会が公衆衛生、栄養学、食品学、調理理論、食文化概論を担当して実施している。8月21日～9月13日の間に県内5会場で開催された講習会に延べ24名（講師12名）が講師を務めた。講習会の実施にあたって、調理師試験対策委員会および準備講習会講師合同会議を開催し、調理師試験の概要、受験準備講習会の趣旨、講師を務めるにあたっての留意事項などについて共通理解を深め講習内容の充実を努めた。

【①県民 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

1-3 「調理師による県民の食生活の向上に関する条例」に基づく講習会への協力事業（事業部）

平成28年度4月1日からの県条例の施行に伴い、（一社）千葉県調理師会の本部、支部が実施することになった講習会の開催にあたり、前年度に引き続き受験準備講習会の講師が「栄養と健康」「食文化」を担当し、研修会の適正・円滑な実施に協力した。4会場での開催が計画されていたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため1会場での開催となり1名が講師として運営に協力した。

【①調理師 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2. 栄養改善に貢献した個人・団体を顕彰する事業

2-1 栄養改善奨励賞の授与（学術部、総務部）

栄養改善に顕著な功績のあった栄養士・管理栄養士に対して栄養改善奨励賞の授与を行い、栄養士・管理栄養士の研究の奨励、振興を図ることを目的として行った。第21回千葉県栄養改善学会において発表された一般発表14演題を対象に、顕彰審査委員会を2月13日にWeb開催し厳正に審査した結果、3題を表彰に値するとして理事会に推薦した。理事会において推薦のあったものを栄養改善奨励賞に決定し、2021年度定時総会式典において表彰することとした。（現時点では、予定）

決定した演題は、以下のとおりである。

演題1：「糖尿病性腎症等重症化予防事業の取り組み ―推算塩分摂取量と塩分チェック表からみえる減塩指導の検討―」（行木隆子氏、石田ゆかり氏/東金市健康増進課）

演題5：「管理栄養士の病棟配置に関する考察」（小林裕子氏/東京ベイ・浦安市川医療センター）

演題14：「甘味と脂質に対する感受性に気分状態と一過性ストレスが与える影響」（阿曾菜美氏/千葉県立保健医療大学）

【①栄養士・管理栄養士、栄養関係団体・個人 ②事務所掲掲示板、ホームページ ③表彰 ④顕彰審査委員会、審査基準、評価基準の新設 ⑤単独 ⑥非該当】

3. 適正な食生活を支援する制度の整備

3-1 栄養教諭の配置促進事業（総務部）

栄養教諭の配置促進により、小・中学校における食育を推進することは健全な発育と生涯にわたる心も体も健康な児童生徒の育成につながるものであることから、千葉県教育委員会主管課に対して、栄養教諭の配置促進、市町村費負担の学校栄養職員への栄養教諭の門戸拡大などの要望書を千葉県教育庁に会長他担当者が持参し、今までの増員の結果に御礼を述べるとともに、栄養教諭を配置することの成果などのアンケート結果などを説明する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。

【①学校給食に携わる栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 県・市町村行政栄養士配置促進事業（総務部）

日本栄養士会の要望活動趣旨に応じて実施しており、これまで、地域住民の食と栄養を通じた各種健康づくりの進展を目的に市町村行政栄養士の複数配置や高齢者の低栄養や生活習慣病重症化予防等の栄養課題への対策をより充実効果をあげるために、健康づくり部門のみならず、高齢福祉・介護保険部門への管理栄養士の正規職員配置促進について、県内市町村における行政栄養士の従事状況を踏まえ要望活動を実施してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けて日本栄養士会としての活動を見合わせたことから、実施しなかった。

【①栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 栄養士・管理栄養士の適正配置促進事業（総務部、組織部）

高齢社会が進行し健康づくりや生活習慣病の重症化予防、介護予防などの栄養管理の重要性が高まる中、県民の要望に応えるため無料職業紹介所を開設し、ホームページなどで事業者および栄養士・管理栄養士に利用を案内し、38件の求人、3件の求職があった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-4 食品の栄養成分表示の促進事業（事業部）

消費者に食を通じた健康づくりの必要性の理解を深め、健康づくりの推進とともに、高齢者を対象とした配食サービスで提供される食事の栄養管理の充実に向け、これらの製造などに関わる事業者などの求めに応じて食品の栄養成分表示を促進するために体制の整備を図ることを計画したが、依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第4号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

広く県民に開かれたものとして機能する連携関係や制度づくりを行い、不特定かつ多数の者が本事業による利益を享受できるように努めた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門性を反映させた。事業は適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家と連携して行い、理論的にも実践的にも高い質の連携関係や制度づくりに努めた。

その他、県民（地域住民）の健全な食生活の礎となる地域社会づくりなどの食環境の整備をもって公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

V. 法人運営に関する事業

1. 各種事業の充実への取り組み

1-1 執行体制の強化（総務部）

事業および会議などの年間予定表を作成し、理事会、部長会、各種委員会を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため6月までは会議を書面開催や延期とした。7月以降は会議のZoom参加ができるように整備し、会議中の換気や短時間での会議にするなど3密回避に努めた。

今年度は役員改選が行われたことから、業務の手引きを改定するとともに新理事事業執行勉強会を行い、理事の役割、業務の所掌、会の運営、定款の他関係規約などの理解を深め、事業の適正・円滑な実施に努めた。

1-2 事務局体制の充実（総務部）

事務局の業務分担や業務の処理方法を明確にして、事務の理解と事務処理の効率化に努めた。また会計事務の充実をもとに、経費の節減と効率的な執行に努めることなどを中心に、業務の適正かつ効率的な運営に努めた。

2名の職員の採用により、引継ぎ業務を行った。

1-3 栄養ケア・ステーション事業推進委員会の開催（総務部）

委員会を8月22日（土）と11月14日（土）に開催し、栄養ケア・ステーション事業の充実と円滑な実施に努めた。

1-4 職域事業部事務担当者研修会および担当者会議の開催（総務部）

職域事業部事務担当者会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止とした。職域事業部会計担当者会議については、7月25日（土）に開催し、職域事業部・地域事業部における会計処理方法について周知し、適正かつ円滑な会計処理の実施に努めた。

1-5 組織・財政問題検討委員会の開催（総務部）

委員会を8月8日（土）と2月20日に開催し、今年度は第4次組織強化長期計画の最終年度であることから、取り組みの成果と次期組織・事業拡充強化長期計画について検討を進めた。担当者打合せ会議を9月11日（金）、9月18日（金）、10月2日（金）、10月20日（火）、10月25日（日）、12月4日（金）に行った。

1-6 協賛会員対策の推進（総務部）

会報誌「栄養千葉」および「ホームページ」に優良商品の紹介と協賛会員名簿を掲載した。年2回の展示会や賀詞交歓会の開催ができなかったことで、千葉県栄養改善学会の冊子に広告を掲載した。

1-7 非常災害時支援体制の整備（総務部）

日本栄養士会が進めるJDA-DAT事業の推進に向け、各職域事業部からの推薦された委員による非常災害対策委員会を設置し、委員会を開催した。8月2日（日）、10月3日（土）、12月5日（土）、2月13日（土）

1-8 会費の自動払込みの促進（総務部）

会費の早期納入および事務局の作業軽減、徴収時の事故防止の観点から、会費の「自動引き落とし」利用者の増加に向けて、会報誌「栄養千葉」や各種研修会実施時に会員への周知を行った。利用者は360名（昨年より5名増）となった。

1-9 財政基盤の強化（総務部）

会員の減少が続いている状況をふまえ、財政基盤強化のための会員および協賛会員の確保に努めた。併せて各種事業の経費節減に努めるとともに、会費未納者への納入促進について、文書の発送を行うとともに各職域事業部と連携し電話での納入依頼などを行い、財政基盤の強化に努めた。

1-10 栄養士職場問題対応委員会の運営（総務部）

会員からの相談はなく、委員会は開催しなかった。

1-11 （公社）日本栄養士会関係会議への出席（総務部）

定時総会および諮問会議、京浜地区会長会議などの各種関係Zoom会議に出席し、日本栄養士会の行う各種事業の円滑な執行に協力するとともに、本会事業の充実に努めた。

1-12 諸規程の整備（総務部）

公益法人としてのより適正な組織・運営を行うため、業務の実施状況や実態と規定内容について点検し、各種規定の整備を行った。

1-13 会報「栄養千葉」の発行（広報部）

4月、8月、12月に134号～136号を発行した。記事は簡潔明瞭に努め、ページ数が増えないように配慮した。

1-14 長谷川克己氏叙勲受賞祝賀会（総務部）

長谷川克己先生が令和元年秋に旭日双光章を受章したのを祝い、2020年度に祝賀会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大が著しい状況を受け、延期することとした。

2. 第4次組織強化長期計画の推進（組織部）

第4次組織強化長期計画最終年にあたり、第4次長期計画のまとめと次期長期計画案を立案、策定した。
次期長期計画として「組織事業強化中長期計画」を策定した。

3. 会議の開催

理事会

第1回 2020年4月18日（土） 文書開催

1. 2019年度収支決算報告および監査報告について
2. 2020年度定時総会の開催運営について
3. 2020年度生涯教育研修会の開催運営について
4. よりソリプロジェクト・人材育成研修会の開催について
5. 栄養の日事業について
6. 健康づくり栄養講座の開催について
7. 会員の入会の承認について
8. 日本栄養士会 会長表彰の被表彰者の推薦について
9. 長谷川克己先生 叙勲受章祝賀会の開催について

第2回 2020年6月13日（土）

1. 代表理事の選出について
2. 2020・2021年度役員分担について
3. 2020・2021年度各種委員会委員について
4. 2020年度事業・会議予定について
5. 2020年度事業の執行について
6. 業務の手引き・定款および諸規程について
7. 生涯教育研修会の開催について
8. 千葉県栄養改善大会の開催について
9. 栄養千葉135号・栄養士会雑誌31号発行計画兼原稿計画（案）について
10. よりソリプロジェクト人材育成研修会の開催について
11. その他

第3回 2020年9月5日（土）

1. 食育・健康料理教室の開催について
2. 栄養ケア・ステーション人材育成研修会の開催について
3. 健康づくり栄養講座の開催について
4. 千葉県栄養改善学会の開催について
5. 千葉県栄養士会会長表彰について
6. 栄養千葉136号（12月号）・栄養士会雑誌32号 発行計画兼原稿依頼（案）について
7. その他

第4回 2021年1月16日（土）

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 2020年度事業報告・収支決算の取りまとめについて
3. 2021年度生涯教育研修会の開催について
4. 2021年度事業計画・収支予算案の作成について
5. 第4次組織強化長期計画の取り組みの成果と組織・事業拡充強化計画（2021年版）について
6. 外来栄養食事指導について
7. 2021年度定時総会の開催について
8. 2020年度収支見込みと事業の見直しについて
9. 栄養千葉137号（4月号）・千葉県栄養士会雑誌No.33号発行計画について
10. その他

第5回 2021年3月13日（土）

1. 2020年度事業報告案の作成について
2. 2021年度事業計画・収支予算の決定について
3. 2021年度生涯教育研修会の開催について
4. 2021年度定時総会の開催について
5. 第4次組織強化長期計画の取り組みの成果と組織・事業拡充強化中長期計画（2021年版）について
6. その他

部長会

第1回 2020年8月22日（土）

1. 栄養ケア・ステーション人材育成研修会の開催について
2. 千葉県栄養士会会長表彰について
3. 健康づくり栄養講座の開催について
4. 千葉県栄養改善学会の開催について
5. 栄養千葉136号（12月号）・栄養士会雑誌32号発行計画兼原稿依頼（案）について
6. その他

第2回 2020年11月14日（土）

1. 栄養改善学会の開催について
2. 2020年度事業報告・収支決算の取りまとめについて
3. 2021年度生涯教育研修会の開催について
4. 2021年度事業計画・収支予算案の作成（職域事業部・地域事業部含む）について
5. 2021年度定時総会の開催について
6. 第4次組織強化長期計画の取り組みの成果と組織・事業拡充強化計画（2021年版）
7. 2020年度収支見込みと事業の見直しについて
8. その他

第3回 2021年2月20日（土）

1. 2020年度事業報告案の作成について
2. 2021年度事業計画・収支予算案の作成について
3. 2021年度生涯教育研修会の日程について
4. 2021年度定時総会の開催について
5. その他

貸借対照表

2021年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,119,678	14,400,454	2,719,224
前払費用	197,010	295,663	△ 98,653
流動資産合計	17,316,688	14,696,117	2,620,571
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	6,674,733	7,468,794	△ 794,061
基本財産合計	6,674,733	7,468,794	△ 794,061
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,526,266	2,406,245	120,021
医療機関栄養業務実態調査預金	462,096	995,035	△ 532,939
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	600,000	0
柴田顕彰会預金	3,557,285	3,597,251	△ 39,966
特定資産合計	7,145,647	7,598,531	△ 452,884
(3) その他固定資産			
什器備品	13,242	14,861	△ 1,619
ソフトウェア	0	1	△ 1
敷金・保証金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	313,242	314,862	△ 1,620
固定資産合計	14,133,622	15,382,187	△ 1,248,565
資産合計	31,450,310	30,078,304	1,372,006
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	224,650	0	224,650
前受会費	4,699,500	4,600,000	99,500
預り金	3,011,606	2,959,650	51,956
流動負債合計	7,935,756	7,559,650	376,106
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,523,670	2,403,670	120,000
固定負債合計	2,523,670	2,403,670	120,000
負債合計	10,459,426	9,963,320	496,106
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	20,990,884	20,114,984	875,900
(うち基本財産への充当額)	(6,674,733)	(7,468,794)	(△794,061)
(うち特定資産への充当額)	(7,145,647)	(7,598,531)	(△452,884)
正味財産合計	20,990,884	20,114,984	875,900
負債及び正味財産合計	31,450,310	30,078,304	1,372,006

正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息			
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	55	991	△ 936
③ 受取入会金			
受取入会金	125,000	116,000	9,000
④ 受取会費			
受取会費	14,720,000	14,625,000	95,000
受取協賛会費	2,800,000	2,950,000	△ 150,000
⑤ 事業収益			
受取受講料 (会員)	386,300	1,523,200	△ 1,136,900
受取受講料 (会員以外)	19,000	428,500	△ 409,500
受取分担金	20,000	1,513,000	△ 1,493,000
受取業務手数料	1,626,457	2,831,779	△ 1,205,322
受取事業協賛金	210,000	440,000	△ 230,000
販売収益	1,000	0	1,000
雑収益	0	0	0
⑥ 受取補助金			
受取地方公共団体他補助金	0	26,000	△ 26,000
⑦ 受取寄付金			
受取寄付金	0	300,000	△ 300,000
⑧ 雑収益			
受取利息	979	76	903
雑収益	16,766	246,225	△ 229,459
経常収益計	19,925,557	25,000,771	△ 5,075,214
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	4,872,336	5,072,411	△ 200,075
臨時雇賃金	446,800	238,950	207,850
退職給付費用	96,000	96,000	0
福利厚生費	469,388	558,482	△ 89,094
会議費	302,657	831,591	△ 528,934
旅費交通費	440,638	1,315,249	△ 874,611
通信運搬費	1,187,798	1,370,543	△ 182,745
減価償却費	556,977	604,471	△ 47,494
消耗品費	653,105	1,491,954	△ 838,849
印刷製本費	541,995	818,746	△ 276,751
光熱水料費	216,387	209,016	7,371
賃借料	630,000	630,000	0
保険料	43,045	75,581	△ 32,536
諸謝金	1,609,559	2,890,067	△ 1,280,508

科 目	当年度	前年度	増 減
会場費	147,925	534,375	△ 386,450
リース料	466,503	299,074	167,429
食料費	32,370	244,946	△ 212,576
支払負担金	472,676	340,232	132,444
渉外費	0	50,000	△ 50,000
表彰費	44,290	44,212	78
消耗什器備品費	0	0	0
租税公課	56,910	42,910	14,000
雑費	81,838	139,751	△ 57,913
事業費計	13,369,197	17,898,561	△ 4,529,364
② 管理費			
役員報酬	360,000	360,000	0
給料手当	1,218,083	1,268,102	△ 50,019
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	24,000	24,000	0
福利厚生費	117,347	139,620	△ 22,273
会議費	272,118	468,823	△ 196,705
旅費交通費	102,463	125,369	△ 22,906
通信運搬費	349,555	245,067	104,488
減価償却費	238,704	259,058	△ 20,354
消耗品費	201,212	234,273	△ 33,061
印刷製本費	1,635,004	1,681,721	△ 46,717
光熱水料費	92,737	89,519	3,218
賃借料	270,000	270,000	0
保険料	6,513	7,011	△ 498
諸謝金	290,995	556,672	△ 265,677
会場費	12,275	76,065	△ 63,790
リース料	199,929	128,174	71,755
食料費	496	1,517,683	△ 1,517,187
支払負担金	92,844	89,895	2,949
渉外費	96,166	175,665	△ 79,499
表彰費	37,505	54,415	△ 16,910
租税公課	24,990	20,227	4,763
雑費	37,524	169,893	△ 132,369
管理費計	5,680,460	7,961,252	△ 2,280,792
経常費用計	19,049,657	25,859,813	△ 6,810,156
当期経常増減額	875,900	△ 859,042	1,734,942
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	875,900	△ 859,042	1,734,942
一般正味財産期首残高	20,114,984	20,974,026	△ 859,042
一般正味財産期末残高	20,990,884	20,114,984	875,900
II 正味財産期末残高	20,990,884	20,114,984	875,900

2020年度正味財産増減計算書内訳表

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合 計	備 考
	公1	公2	公3	公4	公益共通	公益事業計			
	科学技術 振興事業	人材育成 事業	自律支援 事業	食環境 整備事業					
1 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息									
特定資産運用益									
特定資産受取利息	0	0	0	55		55		55	
受取入金									
受取入金					62,500	62,500	62,500	125,000	新入会者 125名
受取会費									
受取会費					7,360,000	7,360,000	7,360,000	14,720,000	会員1,470名(前年度7名含む) 職域事業部のみ8名
協賛会費					2,800,000	2,800,000	0	2,800,000	協賛会費56口
事業収入									
受取受講料(会員)	0	386,300	0	0		386,300	0	386,300	生涯教育研修会 3日間分参加費他
受取受講料(会員以外)	3,000	16,000	0	0		19,000	0	19,000	
受取分担金	0	0	0	0		0	20,000	20,000	改善大会
受取業務手数料	0	0	1,002,007	288,000	168,225	1,458,232	168,225	1,626,457	栄養ケアステーション事業
受取事業協賛金	60,000	0	150,000	0		210,000	0	210,000	ホームページ他各種事業への協賛金
販売収益	0	1,000	0	0		1,000	0	1,000	
雑収益	0	0	0	0		0	0	0	雑収益
受取補助金等									
受取補助金	0	0	0	0		0		0	
受取寄付金									
受取寄付金						0		0	
雑収益									
受取利息	441	500	0	0	19	960	19	979	受取利息
雑収益		10,406	0	0	3,180	13,586	3,180	16,766	
経常収益計	63,441	414,206	1,152,007	288,055	10,393,924	12,311,633	7,613,924	19,925,557	
(2) 経常費用									
事業費									
給料手当	1,475,343	1,360,845	1,662,928	373,220		4,872,336		4,872,336	職員給料・手当
臨時雇賃金	43,700	0	403,100	0		446,800		446,800	繁忙期臨時雇入れ職員
退職給付費用	29,068	26,815	32,764	7,353		96,000		96,000	
福利厚生費	142,130	131,101	160,202	35,955		469,388		469,388	社会保険、労働保険、健康診断
会議費	103,691	69,163	124,358	5,445		302,657		302,657	
旅費交通費	104,763	131,188	169,872	34,815		440,638		440,638	
通信運搬費	589,969	436,997	138,978	21,854		1,187,798		1,187,798	栄養士会雑誌等発送費含む
減価償却費	168,652	155,565	190,096	42,664		556,977		556,977	建物、什器備品
消耗品費	165,949	148,431	305,322	33,403		653,105		653,105	事務機器他消耗品
印刷製本費	430,939	92,782	14,925	3,349		541,995		541,995	封筒、振替用紙他
光熱水料費	65,521	60,439	73,852	16,575		216,387		216,387	電気・ガス・水道料
賃借料	190,764	175,959	215,019	48,258		630,000		630,000	事務所地代
保険料	12,525	9,610	17,110	3,800		43,045		43,045	
諸謝金	272,267	507,750	589,744	239,798		1,609,559		1,609,559	生涯教育他講師等謝金
会場費	6,250	128,520	13,155	0		147,925		147,925	
リース料	141,257	130,295	159,217	35,734		466,503		466,503	事務機器リース料
食料費	2,387	26,231	3,752	0		32,370		32,370	
支払負担金	65,597	92,848	246,637	67,594		472,676		472,676	防犯契約、レンタルサーバー料
渉外費	0	0	0	0		0		0	
表彰費	0	0	0	44,290		44,290		44,290	栄養改善奨励賞
修繕費						0		0	
租税公課	17,232	15,896	19,423	4,359		56,910		56,910	
支払利息						0		0	
消耗什器備品						0		0	
雑費	20,237	33,742	22,501	5,358		81,838		81,838	
事業費計	4,048,241	3,734,177	4,562,955	1,023,824	0	13,369,197		13,369,197	
管理費									
給料手当						1,218,083		1,218,083	職員給料・手当
臨時雇賃金						0		0	
退職給付費用						24,000		24,000	
福利厚生費						117,347		117,347	社会保険、労働保険、健康診断
会議費						272,118		272,118	改善大会含む
旅費交通費						102,463		102,463	
通信運搬費						349,555		349,555	電話料、メール便、切手
減価償却費						238,704		238,704	建物、什器備品
消耗品費						201,212		201,212	事務機器他消耗品
印刷製本費						1,635,004		1,635,004	栄養干葉、封筒、振替用紙他
光熱水料費						92,737		92,737	電気・ガス・水道料
賃借料						270,000		270,000	事務所地代
保険料						6,513		6,513	
諸謝金						290,995		290,995	税理士、司法書士謝金
会場費						12,275		12,275	改善大会含む
リース料						199,929		199,929	事務機器リース料
食料費						496		496	総会
支払負担金						92,844		92,844	防犯契約、日赤ほかへの寄付
渉外費						96,166		96,166	
表彰費						37,505		37,505	
租税公課						24,990		24,990	
役員報酬						360,000		360,000	監事
雑費						37,524		37,524	
管理費計	0	0	0	0	0	5,680,460		5,680,460	
費用合計	4,048,241	3,734,177	4,562,955	1,023,824	0	13,369,197		19,049,657	
公益事業比率	0.213	0.196	0.240	0.054		0.702		0.298	

財産目録

2021年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金			
	現金	手元保管		
		現金	運転資金として	120,598
		職域事業部・千葉地域事業部現金	運転資金として	263,895
	普通預金	千葉銀行みつわ台支店		
		普2006576	運転資金として	186,269
		普2020609	運転資金として	334,921
		普3192700	運転資金として	179,173
		普3409598	運転資金として	341,769
		千葉信用金庫作草部支店		
		普0682242	運転資金として	321,717
		普0685151	運転資金として	2,194,133
	普通貯金	ゆうちょ銀行		
		10580-15293221	運転資金として	50,139
		10570-30174421	運転資金として	877,118
		10530-10135981	運転資金として (公衆衛生)	357,695
	10520-37125371	運転資金として (医療)	592,223	
	10520-54350591	運転資金として (地活)	380,037	
	10130-79051931	運転資金として (研教)	212,015	
	10540-39470871	運転資金として (学校)	406,631	
	10540-9029131	運転資金として (福祉)	728,890	
振替口座	ゆうちょ銀行			
	00110-7-779711	運転資金として	222,024	
	00180-2-94011	運転資金として	8,239,341	
	00180-0-576091	運転資金として	1,111,090	
		【現金預金計】	17,119,678	
前払費用	セコムに対する前払額	防犯契約料4～6月分	72,270	
	千葉市文化振興財団に対する前払額	生涯教育研修会会場費	124,740	
		【前払費用計】	197,010	
流動資産合計				17,316,688

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額
(固定資産)				
基本財産	建物	115.7㎡ 千葉県若葉区殿台町122 平屋1階建	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0% 【基本財産計】	6,674,733 6,674,733
特定資産	退職給付引当資産	ゆうちょ銀行	従業員の退職金の支払いに備えた 積立資産である。	2,526,266
	医療機関栄養業務 実態調査預金	ゆうちょ銀行 通常貯金 ゆうちょ銀行 定額貯金 手許現金	県内医療機関栄養業務実態調査 事業の積立資産である。 【医療機関栄養業務実態調査預金計】	360,096 101,000 1,000 462,096
	全国公衆栄養活動 研究会預金	ゆうちょ銀行	全国公衆栄養活動研究会事業の 積立資産である。	600,000
	柴田顕彰会預金	千葉信用金庫作草部支店	栄養改善功労者を顕彰するた めの事業の積立資産である。 【特定資産計】	3,557,285 7,145,647
その他固定資産	什器備品	パソコン3台、金庫1台他	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0%	13,242
	敷金・保証金	紅谷正男氏に対する敷金支払額 紅谷正男氏に対する保証金支払額	敷金として 保証金として 【その他固定資産計】	150,000 150,000 313,242
固定資産合計				14,133,622
資産合計				31,450,310
(流動負債)				
	未払費用	医療事業部70周年記念誌	70周年記念誌発行代 【未払費用計】	224,650 224,650
	前受会費	会員からの預り額	2021年度の会費及び入会金の預り額 公衆衛生 56名分 医 療 150名分 学 校 31名分 福 祉 105名分 地 活 115名分 研 教 14名分 【前受会費計】	560,000 1,507,000 310,000 1,045,500 1,137,000 140,000 4,699,500
	預り金	会員からの預り額 2019・2020年度分 職員、税理士他からの預り額 長谷川克己先生祝賀会祝い金	日栄会費の預り額 447名分 源泉所得税の預り額 祝賀会祝い金預かり額 6名分 【預り金計】	2,906,400 67,206 38,000 3,011,606
流動負債合計				7,935,756
(固定負債)				
	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員1名の退職金の支払いに備えるもの 【退職給付引当金計】	2,523,670 2,523,670
固定負債合計				2,523,670
負債合計				10,459,426
正味財産				20,990,884

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
建物・・・法人税法に規定する定額法によっている。
什器備品・・・法人税法に規定する定率法によっている。
- (2) 引当金の経常基準
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	7,468,794	0	794,061	6,674,733
小 計	7,468,794	0	794,061	6,674,733
特定資産				
退職給付引当資産	2,406,245	120,021	0	2,526,266
医療機関栄養業務実態調査預金	995,035	1,346,259	1,879,198	462,096
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	100,000	100,000	600,000
柴田顕彰会預金	3,597,251	34	40,000	3,557,285
小 計	7,598,531	1,566,314	2,019,198	7,145,647
合 計	15,067,325	1,566,314	2,813,259	13,820,380

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	6,674,733	0	(6,674,733)	0
小 計	6,674,733	0	(6,674,733)	0
特定資産				
退職給付引当資産	2,526,266	0	(2,526,266)	(2,526,266)
医療機関栄養業務実態調査預金	462,096	0	(462,096)	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	(600,000)	0
柴田顕彰会預金	3,557,285	0	(3,557,285)	0
小 計	7,145,647	0	(7,145,647)	(2,526,266)
合 計	13,820,380	0	(13,820,380)	(2,526,266)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	17,262,213	10,587,480	6,674,733
什器備品	1,495,829	1,482,587	13,242
ソフトウェア	338,256	338,256	0
合 計	19,096,298	12,408,323	6,687,975

以上のとおり相違ありません。

2021年4月8日

公益社団法人 千葉県栄養士会
会長 杉崎 幸子 印
副会長 鯨岡 春生 印
副会長 高澤 博道 印

監査報告書

公益社団法人千葉県栄養士会
会長 杉崎 幸子 様

2021年4月8日

公益社団法人千葉県栄養士会
監事 永井 富貴子 印

公益社団法人千葉県栄養士会
監事 酒井 秀大 印

私たち監事は、2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 各監事は、理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) 各監事は、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。